

熊保推連第11号
令和3年10月21日

衆議院第2選挙区地区
園長各位

熊本県保育推進連盟
会長 桑原 岳 洋
衆議院熊本第2選挙区
連絡責任者 島本 久幸

第49回衆議院議員総選挙における野田毅候補に ついてのお願い

錦秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今回の総選挙にあたり熊本県保育推進連盟は、熊本県の自民党公認の各候補者と政策協定を取り交わし、団体推薦を行っております。

児童福祉法第24条を護り“すべての子供たちの最善の利益を保障するべく”闘い勝ち取った「子ども・子育て支援新制度」につきましては、施行後も必要であれば適宜修正するべきです。そのためには、私たちが状況を注視し現場からの声を常に国に届ける必要があります。

また、自由民主党は政権公約において、「看護師、介護士、幼稚園教諭、保育士をはじめ、賃金の原資が公的に決まるにもかかわらず、仕事内容に比して賃金の水準が長い間低く抑えられてきた方々の所得向上に向け、公定価格のあり方を抜本的に見直します。」と掲げております。

このため、これまで保育全体について絶大な御尽力を頂いて参りました野田毅候補（自由民主党全国保育関係議員連盟会長）には、これからも私たちの代弁者として御活躍いただくことが是非とも必要です。どうぞ一人でも多くの御支援をよろしくお願いいたします。

また、比例区につきましては候補者名でなく「公明党」と御記入よろしくお願
いいたします。

最後に、本文書は各候補の後援会の依頼を受け、皆様に御協力をお願いしているものであることを申し添えます。